

市長としゃべらんで

地域おこし協力隊 × 原井 敬 市長



4

月1日、本市に新たな「地域おこし協力隊」の隊員2人が着任し、本市の地域おこし協力隊員は5人となりました。

今回は新たに着任した隊員2人と原井市長のトークセッションの様をお伝えします。

夢を実現させるため 地域おこし協力隊に

市長 今回は今年の4月に着任した地域おこし協力隊の2人にお話を伺いたいと思います。

着任して3カ月、慣れてきた頃だと思
うんですが、仲良くやれていますか。

田岡 はい。私は主に「たねのや」で勤
務していて、福村君は主に美郷ふれあい
公園の整備をしてくれていますが、たま
に「たねのや」にも来てくれてお昼ご飯
と一緒に食べたりしています。

市長 そうですか。仲良くされているん
ですね。それでは、まずは地域おこし協
力隊を志望した動機を聞きたいと思ひ
ます。田岡さんからお願ひします。

田岡 私は吉野川市出身で、大学卒業ま
で徳島で暮らしていました。その後、香
川県の旅行会社に就職しましたが、コロ
ナの関係で1年間休業することになって
今後どうしようかと考えていました。

元々祖母の家をゲストハウスにしたい
という夢があって、そのことを美郷ほた
る館で勤務する知り合いの方に相談した
ら、地域おこし協力隊の存在を教えてい
ただきました。農家民宿をしている方と
のつながりも持てるし、勉強になるんじや
ないかと教えていただいて、自分の夢に
向かっていけると思い、志望しました。
自分から行動することが好きで、今もす
ごく楽しく仕事をさせてもらっています。
市長 美郷には農家民宿が3件あります
ね。先輩もいるから勉強になるよね。「た

ねのや」はまさしくそういう場所やけん。
田岡 そうですね。幼なじみも県外から
帰ってきて何かしようかと話をしてたの
で、本当にタイミングが良かったです。
市長 前の職場ではどんな仕事内容だっ
たの？

田岡 オペレーターとしてお客さんに旅
行のご案内をして旅行や飛行機の手配を
していました。

市長 旅行プラン作成とかそういうもの
ですか。

田岡 そうですね。基本的にパンフレッ
トに組まれているものでご案内するん
ですけど、自由に回りたいお客さんはホテ
ルと飛行機を手配するっていう形で、オ
プショナルツアーへの参加の手配なども
していましたね。

市長 なるほど。そういう経験は今後も
生かせそうですね。

田岡 はい。今後「たねのや」でイベン
トをする予定で、イベントを考えていく
のも旅行のプランを考えていくのとすご
く似ているので、今までの経験が生かさ
れていて楽しく仕事ができています。

市長 今は美郷で暮らしてるとるんよね。
田岡 はい。住んでいる家は、とても大
きくて、一人で住むには寂しいぐらいの
大きさですが、そんなに山奥ではなくて、
すぐ下に近所の方もいらっしやるので安
心しています。

市長 ご近所付き合いというかね、親切
な方がたくさんいるので、いろいろと気
にかけてくれたりしますよね。そういう



ふくむら かずや
福村 和也 [福岡県出身] Uターン

吉野川市商工会・吉野川市中山間地域
交流拠点施設「たねのや」勤務



たおか わかば
田岡 若葉 [吉野川市出身] Uターン

吉野川市中山間地域交流拠点施設
「たねのや」・美郷物産館 勤務



原井 敬 市長

横のつながりが深い地域です。それでは福村君、志望動機を聞かせていただけますか。

福村 僕は学生の頃、テニスをやっていました。大学生の時に全国大会に出場してタイトルを取ったことを機に、いろんなことに興味を持ち始めました。自分の貯金を削りながら台湾を旅していったとき、台湾の地域の方の家に泊めていただいたことがあります。いろいろな不安になったときだったので心の底から嬉しかったんです。だから僕も誰かを助けたい、助け合える温かい空間を作りたいと思って日本に帰ってきました。

市長 何歳の時に？

福村 19歳の時です。日本に帰ってきて数カ月後に徳島で四国シェアサミットというイベントがあって、そこで吉野川市の方とつながりを持つことができました。

当時はコロナ禍ではなかったので、梅酒まつりなどのイベントのお手伝いをするために、月に1度ヒッチハイクをして徳島にきていました。みんなでワイワイやっているうちに自分が探していた温かい空間はここだなって思いました。いろんな業種の方と一緒にまちおこしを続けていく中で、もっといろんな人にこの地域の良い部分を知ってもらいたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

3カ月間働いてみて、他の地域おこし協力隊の皆さんを見てみると、自分には社会に通用する特技がないなって思いました。でも地域の方がもっとこうしたいほうがいいよとアドバイスを毎回くださる

ので、この3年間で自分の伸ばしていくべき部分を勉強させていただきながら、少しでも地域のプラスになることができればと思っています。

市長 ヒッチハイクで全国各地に行ったの？

福村 はい、ありがたいことに。ヒッチハイクで県外の方と出会って、またこっちにも来てよと言ってくくださる方がたくさんいらつしました。

市長 その中でも徳島とは縁が深かったということですね。

吉野川市って どんなところ？

市長 それでは次の質問にいきましょうか。福村君は県外から来てくれていますが、吉野川市に来てみての印象や感想を教えてくださいませんか。

福村 吉野川市に来て間もない頃、川島の土手沿いでごみ拾いのボランティアに参加していたときに、通りがかりの人が「ごみ拾いおつかれさま」と気さくに話しかけてくれました。僕が住んでいた所では、通りがかりの人にあいさつをするというのがあまりなかったもので、とても嬉しい気持ちになりましたね。温かい人が多いなと思いました。

市長 なるほど。商工会青年部の関係で30代・40代の年齢の方とつながりが多いと思うけど、そういう方との付き合いはどうですか。

福村 すごくかわいがってもらっています。こんなに優しくしてもらっている

かと思うぐらいです(笑)。本当に温かい人が多いですね。

市長 美郷や山川で勤務することが多いと思うんですけど、自然の部分ではどうですか。

福村 全国のいろんな自然や景色を見ました。その中でも美郷は何も手を加えられていない自然が多くて毎回景色を見る度にすごいなと感じますね。

市長 生まれ故郷は福岡の市街地のほうですか。

福村 都会のほうだったので、自然に触れ合う機会があまりなかったですね。あと、こちらの方から子ども頃は川に石を投げて水切りをして遊んだという話を聞いて、都会と全然遊び方が違うなと思いました。

市長 この地域は吉野川も含めて身近に川がいくつもありますね。

それでは田岡さんお願いします。田岡さんは元々徳島で生まれ育っているので、改めて知ったこととか、気づいた点があれば聞かせてください。

田岡 私にとって田舎は暮らしやすい場所ですが、美郷に関しては知識を付けなないと案内できないので、ホテルや梅酒、美郷の物産も含めて、着任して3カ月間でいろんなことを学びました。お客さんの反応を見て、改めて自然がきれいではないところなんだと感じているところです。吉野川市に生まれてよかったと思っています。

市長 学生時代や小さい頃からつながりがある方は応援してくれていますか。



田岡 そうですね。皆さん新聞を見て連絡をくれたり、「協力するからなんでも言って」と温かい言葉を掛けてくれる方も多いですね。美郷の方からも野菜を大量にいただいたり、バードコールを作ってくれたりして、今はすごく歓迎されて、人に恵まれて仕事できているなと思っています。(※鳥の鳴き声に似た音を出す道具)

市長 今はコロナ禍で美郷のイベントも開催できてないけど、ほたるまつりや梅酒まつりは人がたくさん来て賑わいますからね。「たねのや」がイベントの一つの拠点としていろいろ企画していつてくれたらと思います。

田岡 6月に梅酒づくりツアーとホテルツアーを企画しました。コロナの影響で参加者も少なかつたんですけど、参加してくださった方から、「来年も開催してほしい」と言っていたので、今後も「たねのや」を拠点にしてツアーを組んでいけたらなと思っています。

人を呼び込めるような 取り組みを

市長 それでは二人が今後取り組んでいきたいこと、やってみようことを聞かせていただきたいと思います。まずは田岡さんからお願いします。

田岡 今後、成功させたいのは「たねのや」の自然体験のイベントです。焚き火台を作って飯ごうでご飯を炊いてカレーを作って食べたり、竹で竹串を作ってその竹串にマッシュマロを刺して焼きマッシュマロを作ったりする予定です。近い目標

でいうとそれを一番成功させたいですね。

市長 すごく楽しそうなイベントですね。

田岡 池田町にあるシモノロ・パーマネントさんへ視察に行つたんですが、そこは「たねのや」と同じく廃校舎を利用している施設で、焚き火台やサウナもありました。「たねのや」にも焚き火台がほしいと思って、自分たちで石を拾ってきて作ろうということになりました。

市長 なるほど。視察は大事ですね。見に行ける機会があるならいろいろ見に行つた方がいいと思いますね。

田岡 すごく勉強になりました。これからは人脈を広めて、たねのやを周知していろんな方に使ってもらえるようにと思っています。それが3年間の目標です。

市長 わかりました。それでは福村君、今後取り組んでいきたいこと、やってみようことを聞かせていただけますか。

福村 美郷のホテルを見に来たお客さんから、「美郷ふれあい公園に他の場所では咲いていないような珍しい花が何種類も咲いている」という情報を教えていただきました。なので来年のこの時期にぜひお花のツアーをやりたいなと思っています。ツアーを組むには知識が必要なので、家の畑で栽培して少しずつ勉強していきたいです。

商工会では、さまざまな業種の会員さんとお話しする機会があって、例えばウォーターサイババルを復活させたいという要望があることを聞きました。僕がいろんな方から意見を聞いて突破口を開いていきたいですね。

市長 今はコロナ禍でなかなかやりたいことができないと思うけど、協力隊として会員の方がやりたいっていうのを形にしていく作業などを頑張っていたらいいかなと思います。

あとは、お二人には吉野川市外から人を呼び込むような取り組みをしてもらえればと思います。美郷の梅酒や高越山のオンツツジも有名で、人を呼べるコンテンツはあると思うので。コロナ禍では厳しいところもあるけど、若いので何でもトライしていただけたら。地域おこし協力隊の先輩3人にもいろいろ教わりながらね。

田岡 先輩の滑良さんからデザインの仕方やiPadの使い方も教えてもらって、いろいろ勉強させてもらってます。

市長 地域おこし協力隊5人は年齢が近いよね。20代の若い世代がそろっているのは一つの強みだなと思います。

最後に、4月の着任式の時にも申し上げたんですが、お二人には「素直な学習者」でいてもらいたいと思います。地域おこし協力隊員として、まずは地域の方とコミュニケーションをとって地域に溶け込んでいただきたい。そのためには素直な気持ちを持って地域の方の話を聞くことが大事だと思います。



学習者の部分については、失敗・経験して勉強したことを次にどう生かすかということですね。これは勉強ができるとかそういう意味ではなくて、経験値を今後どう生かしていくか、その部分が非常に大事だなと思います。お二人の今後の活躍を期待しています。本日はありがとうございました。

田岡・福村 ありがとうございます。